



**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「セント・アンドリュー県南部地区地域住民支援センター改修計画」
贈与契約署名式**

2022年3月11日、藤原大使とカニングハム・セント・ルークス・アングリカン教会代表との間で贈与契約書（贈与額84,120米ドル）が署名されました。

藤原大使は、挨拶の中で、セント・ルークス・アングリカン教会が長年、セント・アンドリュー南部地域住民を対象に社会貢献活動を行ってきたことを高く評価しました。その活動は、毎週水曜日に朝食、毎週金曜日は昼食を提供する他、ワークショップの開催、無料健康診断の実施など、多岐に渡ります。また、藤原大使は、健康に害を及ぼす可能性があるアスベスト含有物を撤去し、安全な環境において人々が社会奉仕活動を受けられるようにすることは、人間の安全保障の概念に合致し、極めて重要であると述べました。

本件事業は、地域住民支援センターのアスベストを含む屋根を改修することで、住民のアスベストによる健康被害を防ぎ、また、安全な環境の下で食料・医療支援及び青少年・育児教育プログラムを再開することで、地域住民のエンパワーメントに寄与することを目的とするものです。

今回の署名式には、社会貢献活動に関与している様々な団体、関係者が参加し、安全な環境を確保することの重要性及び支援再開に向けた期待が表明されました。



1. 本支援の意義を述べる藤原大使



2. カニングハム代表の挨拶



3. レイド事業担当（司会）からの挨拶



4. 署名式の模様

カニングハム代表（左）、藤原大使（右）



5. 式典記念撮影

カニングハム代表（左）、藤原大使（右）



6. 住民支援センターの視察